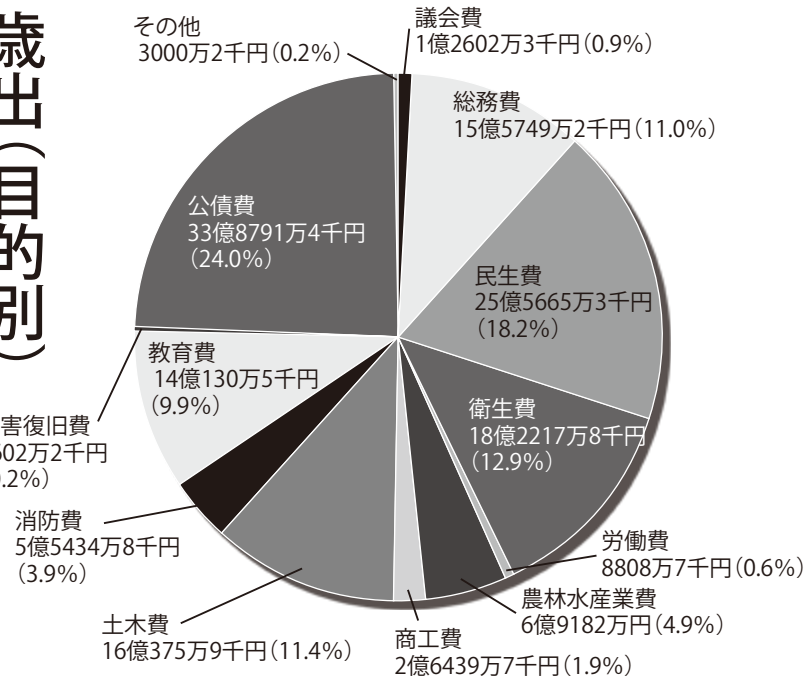
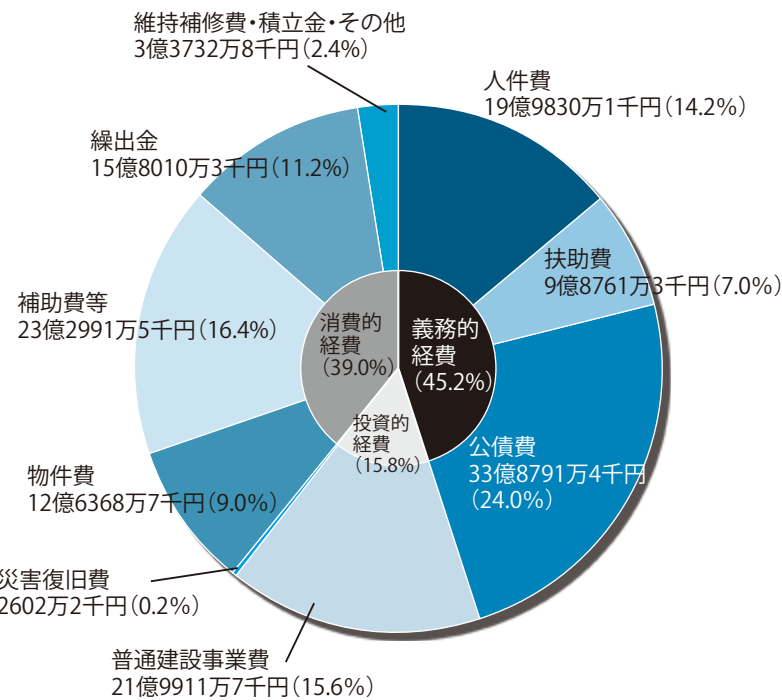


歳出(性質別)



【歳出】
 人件費・議員報酬、各種委員報酬、特別職給与、職員給与など
 扶助の経費
 公債費…町債の元利償還金および一時借入金利子の合算額
 普通建設事業費…道路、学校など公共用または公用施設の建設事業に要する経費
 物件費…臨時職員の賃金、需用費(消耗品等)、役務費(郵便料、火災保険などの保険料等)、備品購入費など
 補助費等…各種団体への補助金、奥能登クリーン組合や宇出津病院への負担金など
 繰出金…一般会計と特別会計または、特別会計相互間で支出される経費

【財政指数等】
 基金…特定の目的のために資金を積み立てたり、定額の資金を運用するために設けられる資金または財産
 經常収支比率…財政の弾力性を示す指標。数値が低いほど自由に使えるお金が多い
 起債制限比率…普通会計の支出全体に占める公債費の割合から地方債発行の状況を判断する指標
 実質公債費比率…普通会計に企業会計や一部事務組合も含めた実質的な公債費への財政負担の程度を示す指標

歳出

では、義務的経費が総額 63 億 7382 万 8 千円で歳出全体の 45.2% を占めています。そのうち人件費は、退職者数減などにより 4 億 1277 万 6 千円減の 19 億 9830 万 1 千円。扶助費はグループホーム・ケアホーム家賃助成の追加などによる障害者自立支援給付事業介護給付費などが増額となりましたが、子どものための手当の減額を見込み 1540 万 6 千円減の 9 億 8761 万 3 千円となりました。公債費は繰上償還金 5 億 1048 万 8 千円を計上し、前年度から 2 億 3417 万 1 千円増の 33 億 8791 万 4 千円となりました。

普通建設事業費では、能都中学校改築事業、防災行政告知施設整備事業など大型事業が最終事業年度や事業完了となり、総額で 6 億 2756 万 9 千円減の 21 億 9911 万 7 千円となりました。

消費的経費は、1 億 2837 万 8 千円増の総額 54 億 8103 万 3 千円となりました。そのうち補助費等は、奥能登広域圏事務組合での市町共同によるシステム統合完了などで、3908 万 9 千円減の 23 億 2991 万 5 千円。維持補修費では、除雪業務委託の増などで、3752 万 4 千円増の総額 1 億 9317 万 5 千円となりました。

繰出金は、公共下水道事業で小木処理区汚泥脱水機設置に伴う国庫補助金分の繰出金増などで、1 億 4166 万 2 千円増の総額 15 億 8010 万 3 千円となりました。

一般会計予算

141 億 1000 万円

(前年度比 6 億 7100 万円減)

平成

24 年度当初予算は、大型プロジェクト一部完了などによって一般会計で対前年度 6 億 7100 万円 (4.5%) 減の総額 141 億 1000 万円となりました。震災を教訓とした防災事業の強化、雇用対策や地域産業の育成、昨年度に引き続き子育て支援の充実や教育環境・住環境の整備などに力を入れ、能登町の成熟期としてさらに一歩進むべく「生きた投資」に心掛けた予算となっています。

歳入

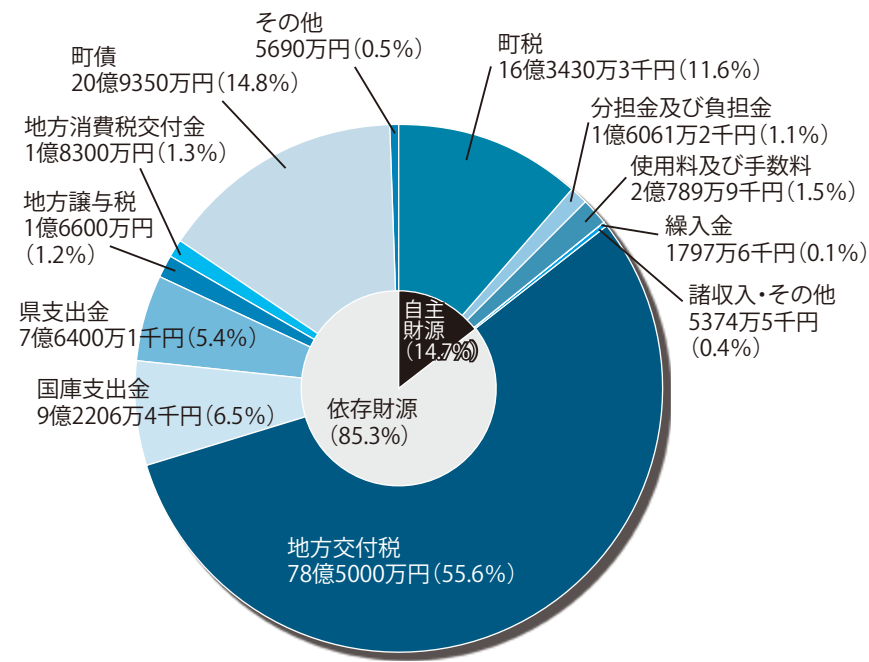
は、町税が前年度より 1249 万 9 千円増の 16 億 3430 万 3 千円を見込んでいます。町民税の年少扶養控除廃止による増額や法人町民税の増を見込んでいます。

歳入全体の約 55% を占める地方交付税は、78 億 5000 万円を見込んでいます。

国庫支出金は、過年発生道路災害復旧費、道路橋りょう新設改良事業に伴う交付金、公共下水道事業などで増額となっていますが、最終年度となる能都中学校改築事業、子どものための手当給付事業の法改正による減などで、5 億 3796 万 3 千円減額し、総額 9 億 2206 万 4 千円を見込んでいます。

町債は、防災行政告知施設整備事業の完了、県営畑地帯総合整備事業の完了などにより 1 億 2370 万円減の総額 20 億 9350 万円となりました。公共事業の地域経済への影響と公債費負担の適正化とのバランスを保ちながら、計画的に発行額の抑制に努めています。

歳入



◆地方債残高

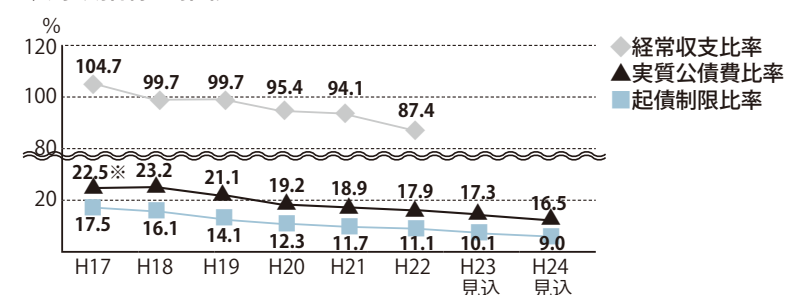
区分	平成 23 年度末 (見込)	平成 24 年度 (見込)
普通会計※	230 億 390 万 5 千円	220 億 6438 万 5 千円
特別会計	117 億 5136 万 3 千円	116 億 2982 万 4 千円
企業会計	42 億 8663 万 4 千円	43 億 2076 万 1 千円
計	390 億 4190 万 2 千円	380 億 1497 万円

※一般会計と有線放送特別会計の合計

◆基金総額

区分	平成 23 年度末 (見込)	平成 24 年度 (見込)
一般会計	35 億 5226 万 5 千円	35 億 7016 万 3 千円

◆財政指標の推移



※実質公債費比率の H17 は制度改正後に置きかえると「23.9」

用語解説

【歳入】

自主財源…町税、分担金及び負担金、使用料、手数料、財産収入、繰入金、諸収入など自主的に収入しうる財源
 依存財源…地方交付税、国庫支出金、県支出金、地方譲与税、地方債など国の意志により定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入
 町税…町民税、固定資産税など皆さんが納めた税金
 繰入金…町の基金からの繰入金
 諸収入…町税の延滞金などの収入科目に含まれない収入
 地方交付税…地域間の税源の不均衡を調整し、すべての地方公共団体が一定水準の行政サービスを提供できるようにするために、国が一般財源として配分する税
 国庫支出金・県支出金…各種事業に対する国・県からの補助金など
 町債…資金調達などの長期借入金

【歳出】

人件費…議員報酬、各種委員報酬、特別職給与、職員給与など
 扶助費…社会保障制度の一環として、生活保護法、児童福祉法、老人福祉法などに基づき、生活を維持するために支出される経費や各種

会計別予算と 主要施策

【国指定名勝】旧松波城公園枯山水遺構

◆会計別予算額

区分	予算額	増減
一般会計	141億1000万円	△4.5%
特別会計（合計）	79億7109万4千円	△4.2%
有線放送	2億6794万2千円	△78.0%
国民健康保険	29億5714万円	3.2%
保険事業勘定	29億5164万4千円	3.3%
直営診療施設勘定	549万6千円	△2.3%
後期高齢者医療	3億2242万6千円	5.2%
介護保険	26億5908万4千円	8.0%
保険事業勘定	26億3693万2千円	7.9%
サービス事業勘定	2215万2千円	13.4%
観光施設	5071万5千円	14.4%
公共下水道事業	7億5117万6千円	17.0%
農業集落排水事業	4億6378万4千円	46.2%
漁業集落排水事業	3942万3千円	6.4%
浄化槽整備推進事業	5532万3千円	3.8%
簡易水道	4億408万1千円	8.5%
企業会計		
水道事業会計	7億5958万8千円	21.0%
収益的支出	3億9539万1千円	△2.7%
資本的支出	3億6419万7千円	64.7%
病院事業会計	37億5967万円	44.7%
収益的支出	24億9200万円	6.8%
資本的支出	12億6767万円	379.3%
予算合計	266億35万2千円	1.0%

①潤いある暮らしを支える快適なまちづくり

- 生活交通対策事業 6179万8千円
 - ▽路線バス運営費補助、能登有料道路軽減対策補助、乗合タクシー予約業務委託など
 - 防災総務費1641万3千円
 - ▽避難路整備工事、自主防災育成事業補助金、避難児童扶助、避難者生活資金、民間避難所借上料、防災備蓄品、自主防災リーダー育成事業など
- 町道橋りょう新設改良事業 4億8127万5千円
 - ▽上滝之坊1号線ほか新規3路線、藤ノ瀬5号線ほか継続16路線、舗装補修、除雪機械整備など
- 県営新町通り線街路整備事業
 - ▽岩井戸分団消防ポンプ自動車、耐震性貯水槽整備事業（3カ所）など
- 公共下水道事業 4億1522万2千円
 - ▽小木処理区汚泥脱水機設置など
- ▽梶川橋の舗装工など
- まちづくり交付金事業 2億2164万1千円
 - ▽旧宇出津駅周辺整備など
- 公営住宅整備事業 6547万1千円
 - ▽梅ノ木団地の取り壊し、建設、外構整備など
- 消防施設等整備事業 5910万円

②地の恵みを糧とする活力あるまちづくり

- 勤労者対策事業 1898万9千円
 - ▽雇用促進緊急助成金、労働保険緊急助成金など
- 緊急雇用創出事業
 - ▽離職した非正規労働者や中高年齢者などの生活安定のための雇用支援事業
 - ブルーベリー振興対策事業

⑥住民が連携・交流するまちづくり

- ▽特色ある活動を通して、地域活性化や振興を促進
- 松波城址整備事業 568万2千円
 - ▽旧松波城庭園（国指定名勝）保存管理の基本計画策定など
- 体育施設管理費 6781万9千円
 - ▽能都第2体育館改修工事、柳田B&Gプール解体など
- 学校給食費6298万3千円
 - ▽宇出津小学校共同調理場開設に伴う工事など
- 能登町音頭出前講座 10万円
- 四明ヶ丘集会所整備事業 3564万円
 - ▽流山市交流事業、流山市・小林市表敬訪問など
- 集会所修繕費補助事業
 - 企画調整事業 200万円
- ▽能登スマートフォンプロジェクト、エンデバーファンD21出捐金など
- 地域振興費1324万2千円
 - ▽協働モデル事業、先駆的里山保全地区創出支援事業など
- ふるさと定住住宅助成金 100万円
 - ▽空き家情報登録物件購入者などに助成

⑤豊かな自然を守り活かすまちづくり

- 環境にやさしい町づくり推進事業 628万3千円
 - ▽木質ペレットストーブ設置補助、グリーンカーテン、生ゴミ処理機助成、防犯灯省エネ対策助成、住宅用太陽光発電システム設置助成など
- 世界農業遺産推進事業 544万2千円
 - ▽里山景観保全事業など
- 土地改良事業 2890万円
 - ▽里山保全県単土地改良事業（世界農業遺産整備関係）など
- 高度通信網の活用と健全な行財政のまちづくり
 - 携帯電話不感地域解消事業 5446万円
 - ▽十郎原地内鉄塔整備

③健やかでやさしい暮らしがあるまちづくり

- 障害者医療費助成事業 6626万3千円
 - 福祉タクシー利用助成事業 279万2千円
 - ▽身障1・2級、療育手帳A所持者で、運転免許保持者・自動車税減免者・施設入所者を除く人にタクシーチケットを交付
 - 高齢者敬老福祉サービス事業 432万円
 - ▽ふれあい入浴助成事業など
- 子どものための手当給付事業 1億9294万3千円
 - 母子保健推進事業 1365万8千円
 - ▽妊婦健康診査、不育治療助成、不妊治療助成、乳児県外医療機関受診助成など
 - がん検診事業 1719万5千円
 - ▽胃がん・大腸がん検診、肺がん検診、子宮がん検診、乳がん検診

成金 230万円

④創造性と元氣溢れるまちづくり

- 町内の中小企業などに、地域資源を活用した事業への取り組みや独自性の高いアイデアなどで新たなビジネス展開を目指す取り組みを支援
- 観光施設管理事業 6481万8千円
 - ▽真脇遺跡公園温泉施設整備事業など
- 観光振興対策事業 2376万3千円
 - ▽能登町イメージキャラクター作成、能登杜氏食談など
- 特別支援教育支援員配置事業 2010万1千円
 - ▽障害がある児童生徒の介助や学習支援を行う支援員配置
- 基礎学力調査 106万6千円
 - ▽全国学力調査で抽出されなかった小学6年生、中学3年生に同じ学力調査を実施
- QUシート分析業務 33万6千円
 - ▽いじめや不登校などに早期対応するための分析業務
- 能登高校支援事業 1193万2千円
 - ▽新入生制服購入支援・交通費助成、部活動費助成、早朝バス補助
- 小中学校改修事業 8699万3千円
 - ▽松波小学校（外壁）、鶴川中学校（舗装）、柳田中学校（外壁）工事など
- 能都中学校改築事業 5億5123万9千円
 - 公民館特色ある活動事業 127万5千円